

2026 年度 広島大学工学部 海外インターンシップ教育事業  
台湾・国立中央大学（NCU）との短期相互派遣プログラム  
募集要項

## 1. 事業の概要

世界的な産業構造や分布の変革が進む現在、生産現場はもとより研究開発の現場でも、技術者の海外進出が必要不可欠な状況になっています。そのような状況に対応すべく、本学学生に対して、国際化の必要性を認識させ、様々な国際化プログラム等への積極的な参加動機付けを増進させることを本プログラムの目的とします。

本プログラムでは、研究室に配属された工学部4年生を対象として、台湾の海外協定校・国立中央大学(NCU)との間で相互に学生を 10 日間程度派遣し、その国の教育・研究現場、設計現場、製造現場およびそれを取り巻く文化、環境を学生自身が共同して、学ぶ機会を提供します。

具体的には、本学と NCU 学生の混成チームを結成し、このチームを中心に両大学での活動を行います。

両大学では主に講義の受講、研究室訪問、研究内容紹介、文化理解活動等が実施される予定です。

NCU 学生の本学滞在中は、本学学生がホストとなって NCU 学生の活動を支援します。同様に、本学学生が NCU を訪問する際は、NCU 学生がホストとなり本学学生の活動を支援します。

なお、プログラム担当教員が指定する一部の参加学生には JASSO 海外留学支援制度(協定派遣)奨学金を受給していただきますので、予めご了承ください。

## 2. 応募資格

以下の全てに該当する者を応募の対象とします。

- (1) 広島大学工学部の学生で、派遣時に学部 4 年次生であること
- (2) 先進理工系科学研究科博士課程前期の推薦入学試験の出願者であること
- (3) 人格に優れ、心身ともに健全であること
- (4) 台湾の国民性、文化、学術研究あるいは工学的事例に深い関心を持っていること
- (5) 研修を遂行するために必要な英語能力を有していること
- (6) JASSO 海外留学支援制度（協定派遣）奨学金の受取りが可能であること

### 【参考】

※ NCU 側参加学生やプログラム内容（訪問先・セミナー内容等）は機械系となりますので、あらかじめご了承ください。

※ 研究室訪問研修や研究内容発表等で指導教員や研究室の協力をお願いしていますので、必ず応募前に指導教員の承諾を得てください。

## 3. 募集人数

16 名程度

## 4. 研修内容について

研修は以下の区分により構成されます。プログラム参加学生は、事前研修によりスムーズなプログラム遂行を図るとともに、事後研修により成果をより確実なものとしします。

区分	課題内容
事前研修	<ul style="list-style-type: none"><li>● 本プログラムの趣旨理解と準備教育 (<u>プログラム学生実行委員会への出席は必須</u>)</li><li>● NCU 学生受入時の研究室訪問研修及び相互文化理解研修の計画書作成</li><li>● 「Newton e-learning TLT」による英語学習</li><li>● その他、必要に応じて求められた課題等</li></ul>
受入研修	NCU 学生の受入を支援し、交流を図り、以下の研修を行う。(研修内容は予定) <ul style="list-style-type: none"><li>● オリエンテーション、広島大学紹介、セミナー参加の支援等</li><li>● NCU 学生による研究発表会への準備協力・参加</li><li>● 研究室訪問研修の引率・案内</li><li>● 相互文化理解研修（歴史遺産等）の引率・案内</li><li>● NCU 学生による総括発表</li></ul>

派遣研修	NCU を訪問し，NCU 学生の支援を受け，以下の研修を行う。(研修内容は予定) <ul style="list-style-type: none"> <li>● オリエンテーション，NCU 紹介，授業・実験等</li> <li>● 本学学生による研究発表会</li> <li>● 相互文化理解研修（歴史遺産等）</li> <li>● 工場見学等</li> <li>● 研究室訪問研修・本学学生による総括発表</li> </ul>
事後研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 実施報告書提出</li> <li>● 事前研修に引き続き「Newton e-learning TLT」による英語学習（10 月末まで）</li> <li>● 派遣研修後に各自で TOEIC®を受験し、そのスコアを提出</li> <li>● NCU との合同最終報告会での発表</li> <li>● その他，必要に応じて求められた課題等</li> </ul>

※ 課題内容は変更となる場合があります。

## 5. 費用負担

- 参加費 25,000 円。
- 大学のみ、または大学と JASSO 海外留学支援制度派遣奨学金の両方により、宿泊費及び航空機代を支給します。
- E-Learning は無料です。
- 上記以外の研修に必要となる費用は参加者の自己負担となります。

## 6. 応募手続について

### (1) 応募期間

2026 年 6 月 10 日（水）から 2026 年 6 月 16 日（火）

### (2) 応募方法

以下 URL（Microsoft Forms）に応募書類をアップロードしてください。

<https://forms.office.com/r/C6KmDt38KN>



- 一度アップロードしたファイルを更新する場合は、ファイル名を更新したことがわかるように変更して、再度アップロードしてください。
- 最後にアップロードされたファイルを審査に使用します。
- 応募締切後に、支援室から応募者の広大メールアドレスあてに応募完了通知メールを送ります。
- 応募締切日から 3 営業日以内に応募完了通知が届かない場合は、工学系総括支援室(国際事業担当)あてお問い合わせください。

### (3) 応募書類

#### ① 応募申請書（所定様式）

※ 指導教員承認確認欄に指導教員のサイン又は押印された申請書のスキャンデータ(PDF)をアップロードしてください。

※ ファイル名は「学生番号 氏名 申請書」（例：B999999 広大花子 申請書）

#### ② TOEIC スコア証明書

※ 450 点以上であること。

※ 推薦入試で使用するものと同じもので可。

※ ファイル形式は PDF としてください。

※ ファイル名は「学生番号 氏名 TOEIC」としてください。(例：B999999 広大花子 TOEIC)

#### ③ JASSO 海外留学支援制度奨学金 申請書（所定様式）

※ ご自身の氏名を自書したスキャンデータ（PDF）をアップロードしてください。

※ ファイル名は「学生番号 氏名 JASSO」

## 7. 参加学生の選考について

選考は、応募書類等を考慮して総合的に選考します。

選考結果は、2026年6月25日(木)頃に応募者全員にメールにて通知します。

## 8. 説明会・選考・プログラム等実施スケジュール

日 時	内 容
5月19日(火) 15:00～ 場所：工学部管理棟(C0棟) 2階 大会議室	募集説明会（事前申込不要）  (工学部大会議室は、工学系総括支援室のある建物の2階です。 工学部正面玄関(ロータリー)から建物に入り、2階にお上がください)
6月10日(水) ～6月16日(火)	応募受付期間
6月25日(木) 予定	選考結果通知
6月29日(月) 13:15～ 場所：工学部管理棟(C0棟) 2階 大会議室	プログラム学生実行委員会（参加必須） (概要、スケジュール、研修内容の説明等)
～派遣研修まで	事前研修
7月15日(水) ～7月24日(金)	受入研修（NCU学生の本学訪問）
9月9日(水) ～9月18日(金)	派遣研修（本学学生のNCUへの派遣）
帰国後1週間以内	実施報告書等の提出
派遣研修終了後～	事後研修
12月頃	合同最終報告会
2027年1月29日(金)	(派遣研修後に受験した) TOEICスコア提出期限

※ 日程等は変更となる場合があります。

## 9. リスク管理（傷害保険への加入等）について

プログラム参加学生には不測の事態に備え、広島大学が指定する海外旅行保険への加入及び海外でも通話可能な携帯電話の持参（国際ローミングサービス等の利用等）を義務づけます。

## 10. 単位付与

研修修了者には、後期に工学部共通科目「海外調査研究(工学基礎)」の単位(1単位)が付与されます。この履修登録は支援室が行います。

## 11. JASSO 海外留学支援制度派遣奨学金

### (1) 要件

- (ア) 日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者（特別永住者含む）
- (イ) 経済的理由により自費のみでの派遣プログラムへの参加が困難な者
- (ウ) プログラム終了後、所属学部を卒業する者（退学等の予定がある場合は申請不可）
- (エ) 選考時の前年度の成績評価係数が2.30以上（3.00満点）である者。

【参考】成績評価係数の算出方法

$$\frac{(\text{秀と優の単位数} \times 3) + (\text{良の単位数} \times 2) + (\text{可の単位数} \times 1) + (\text{不可の単位数} \times 0)}{\text{前年度に登録した総登録単位数}}$$

前年度に登録した総登録単位数

- (オ) 本制度以外の本プログラム参加のための奨学金等（以下「他の奨学金という。」）を受ける場合、その支給月額（複数の団体等から受ける場合は合計金額の月額換算額）が、本制度による奨学金月額を超えない者

**【注意点】**

- ※ 日本学生支援機構が実施する第一種・第二種奨学金（貸与型）との併給は可能。
- ※ **日本学生支援機構が実施する「国内の給付奨学金」との併給は認められません。**  
なお、留学期間中の給付を停止すれば、JASSO 海外留学支援制度派遣奨学金の受給は可能です。  
**このプログラムにおける JASSO 海外留学支援制度派遣奨学金者には、この支給月(9 月分)は「国内の給付奨学金」を停止していただきます。この場合、停止手続及び再開手続は学生自身の責任で行っていただきます。**
- ※ 日本学生支援機構が実施する国内の給付奨学金については、以下担当にお問い合わせください。  
学生生活支援グループ奨学金担当（学生プラザ3階）  
Tel : 082-424-6167 Mail : gkeizai-group@office.hiroshima-u.ac.jp
- ※ 「他の奨学金」について、可能性がある場合は事前に支援室にお問い合わせください。
- ※ 在籍大学等や他の団体から留学に関係なく支給される奨学金は、併給可能です。
- ※ 他団体から奨学金を受ける(受けている)場合、その奨学金支給団体側が本奨学金の受給を認めるかどうかは、ご自身でご確認ください。

(2) その他

- ※ 金額は 9 万円です。(受給に関わらず本プログラムの支援額(宿泊費及び航空機代)は変わりません)
- ※ 受給者には、別途受給のための手続きをしていただきます。

## 1 2. その他注意事項

- (1) プログラムに係わる広島大学及び NCU 教職員の指示・命令及び本学を遵守すること。
- (2) 派遣時には派遣先の諸規則を遵守すること。
- (3) 現地の治安情勢に十分注意し、責任ある行動を取ること。
- (4) 派遣先の担当教員が、正当な理由から研修を続行することができないと判断した場合には、広島大学の引率教員と協議のうえ、研修の中止ならびに途中帰国を指示することがある。その理由が参加学生に帰する場合は、研修経費は学生負担とする。
- (5) 派遣国・地域等の災害、治安状況等により、派遣の中止あるいは途中帰国を指示することがある。
- (6) 台湾渡航時の宿泊費・航空券代は、一旦派遣者が立て替え、訪問終了後に支給されます。この時、宿泊や航空券の領収書等、工学部が指定する書類を帰国後に提出してください。
- (7) 本プログラムに関する連絡には広大メール（～@hiroshima-u.ac.jp）を使用しますので、常に広大メールを確認・使用できるようにすること。
- (8) 台湾の宿泊施設は、複数人で一部屋に宿泊する可能性があります。

## 1 3. 問い合わせ先

(研修内容について)

広島大学大学院先進理工系科学研究科 教授 山田 啓司  
Tel: 082-424-7586  
E-mail [keiji@hiroshima-u.ac.jp](mailto:keiji@hiroshima-u.ac.jp)

(応募書類・手続等について)

広島大学 東広島地区運営支援部 工学系総括支援室（国際事業担当）  
〒739-8527 広島県東広島市鏡山一丁目 4-1  
Tel 082-424-4361  
E-mail [kou-gaku-daigakuin@office.hiroshima-u.ac.jp](mailto:kou-gaku-daigakuin@office.hiroshima-u.ac.jp)